

なかつか 亮



原発の再稼働に反対を

品川区議会の自・公・無の反対で意見書提出、否決に



なかつか
ココで亮は
ココです

賛成起立／反対着席 区議会本会議場にて

昨年12月区議会に「川内原発をはじめとする原発再稼働に反対し、原発ゼロ政策への転換を求める意見書を国に提出すること」を求める署名が区議会に提出。自民、公明、無所属区議が反対する中、意見書の可決まであと一歩に迫りました。

再稼働反対の意見書提出 賛成17人 反対21人 “あと一歩”

品川区議会には様々な署名が住民より提出されます。

昨年末は原発の再稼働に区議会として反対

の意見書を国に提出することを求める署名が提出。地方議会には国に対して意見書を提出する権限が、地方自治法によって認められています。

原発ゼロは、ゆるぎない多数の民意

福島第一原発の事故発生から3年半が経過。

いまだに原発汚染水は海に流れ続け、事故収束も原因究明も全く進んでいません。

現在停止中の原発の再稼働を許さず、原発をベース電源としたエネルギー政策の転換、再生エネルギーへの取り組み拡大は区民はもちろん、ゆるぎない国民の強い願いです。共産党は品川区議会として意見書を可決し国に提出することに賛成(起立)しました。裏

原発からの撤退を

安倍政権は原発再稼働の突破口に九州電力川内原発を狙っています。川内原発の近くには頻繁に噴火する桜島があります。ところが、火山の噴火は予知できるといふ新たな安全神話までつくり、再稼働を進めるとは、いったい何事でしょうか。

福島の実態

福島原発事故から今年で4年。今も12万4千人が避難生活をおくり、4回目の冬を迎えています。

福島では避難生活で命を落とす災害関連死が、地震・津波による直接死を上回るなど深刻な事態。事故によって今までの平穏な暮らしを突然奪われ、人生を狂わされたのです。

この事態を招きながら、まるで事故がなかったかのように再稼働に突き進む安倍政権の暴走に怒りがこみ上げます。

福島原発から電力を供給し、消費してきた私たちにできることは、原発からの撤退を実現することではないでしょうか。

現在、日本のすべての原発が停止し1年半。それでも電力不足は起きていません。

節電と省エネ努力で原発13基分の電力削減に成功するなど、原発ゼロでも日本社会は十分やっていけることは証明されています。

原発は時代錯誤

さらに再生エネルギーや省エネの技術開発は日本経済と産業にも新

たな条件を広げます。

先がない原発にしがみつくととは産業政策としても時代錯誤です。

新聞各社の世論調査はどれも「再稼働反対」が多数。首相官邸前でも「再稼働反対」「原発なくせ」の運動が今も力強く続いています。

これらは憲法の人格権をうたつて大飯原発の運転差し止めを命じた画期的な福井地裁判決も示されました。

区議会を変えよう!

今回は自・公・無所属区議の反対で意見書提出は否決となりましたが、あと一歩まで迫りました。今こそ区議会を変え、区民の願いが届く議会の実現へ。原発が無くなる日が来るまで、私はあきらめません。なかつか亮

再稼働反対の意見書提出に「反対」した区議会議員(敬称略)

◆自民党(伊藤昌宏、大沢真一、沢田洋和、鈴木真澄、須藤安通、本多健信、松澤利行、渡辺裕一、渡部茂、横山由香理) ◆公明党(阿久津広王、浅野浩之、金野孝子、武内忍、塚本芳弘、鶴伸一郎、山元敬子、若林広毅) ◆無所属(西本貴子、鈴木博、原浩三) ◆議長の石田秀男(自民)は総務委員会で反対意見を述べました。



予算要望を品川区に提出

2015年度予算要望書を品川区に提出。予算の主役を、くらし応援に転換するよう強く求めました。12月26日 区長室にて

次回の「気軽な町の無料法律相談会」のお知らせ

2月27日(金) 午後6時～8時 場所: 日本共産党なかつか亮事務所
弁護士と一緒に相談会を行います。生活のこと法律のこと、お気軽にご相談ください
連絡先 昼: 区議控室 5742-6818 夜: 事務所 3773-3231